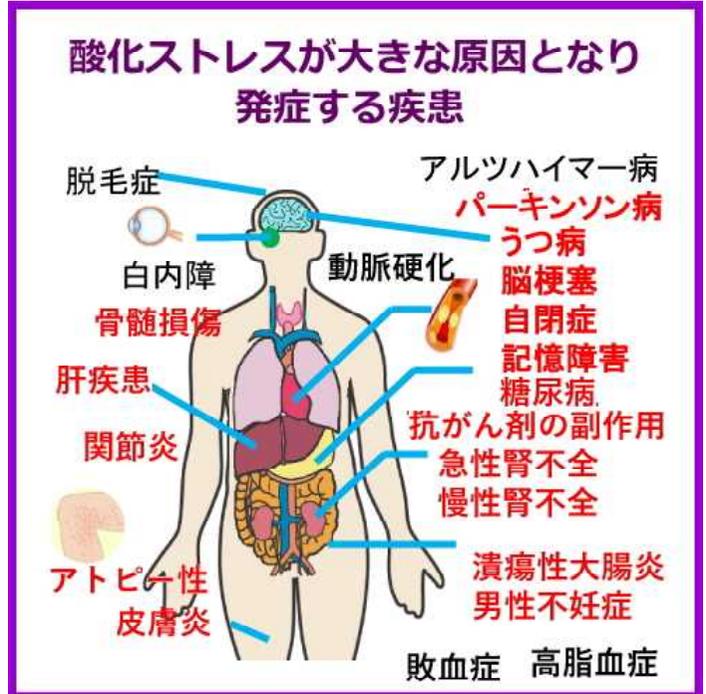


東洋医学では、体内のエネルギーが不足している状態を気虚といいます。



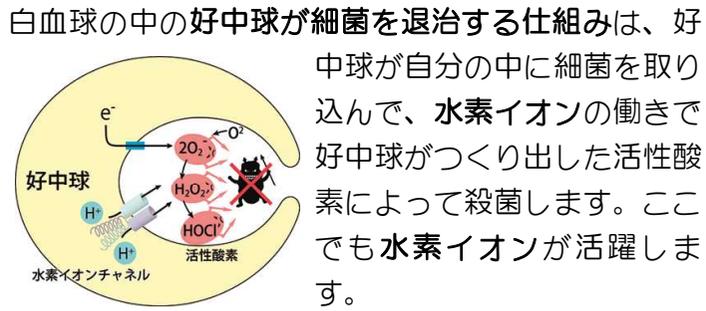
現代医学では、酸化ストレスが溜まると種々な疾患が起こることを指摘しています。



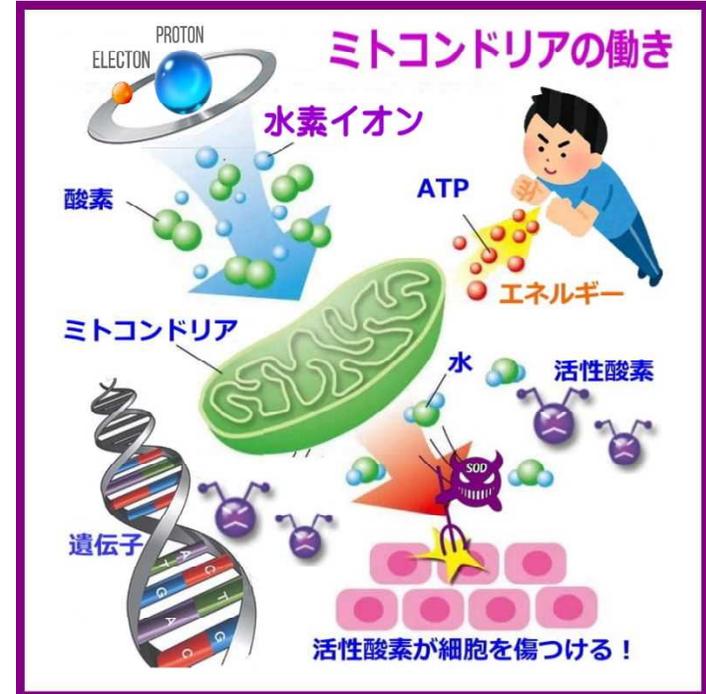
大阪大学産業科学研究所HPより

上記の図中、赤字記載の疾患は、大阪大学大学院医学系研究科における動物実験で、シリコン製剤の効果が見いだされた疾患です。

シリコン製剤は、体内で水素を発生させて活性酸素中ヒドロキシルラジカルをやっつけるそうです。

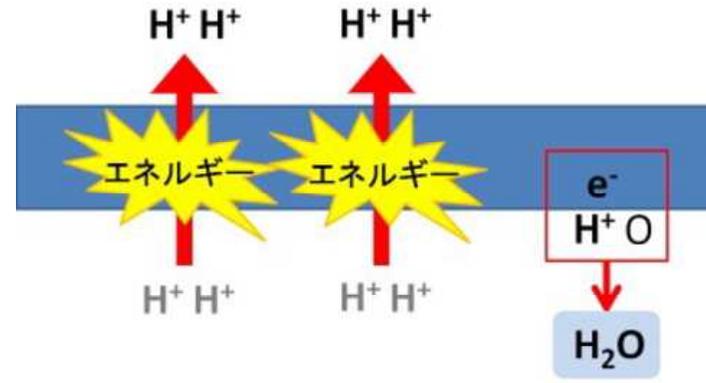


現代科学は、細胞(ミトコンドリア)の働きのエネルギーが水素イオンだったと解明しました。

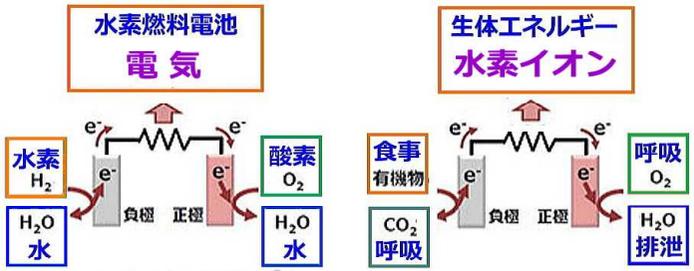


水素イオン水は、水素イオンを直接体内に取り込むことができます。

水素イオンは、エネルギーを造る源泉です!



体の中では常にエネルギーを作っていますが、水素イオン電池は同じ働きをしています。



体内では代謝やストレスなどで活性酸素が発生し、水素イオンを消耗します。この水素イオンが不足すると気虚(ききょ)の状態になります。このためには水素イオンを補給することが効果的で早道です。